

大町市史第五編(民俗・観光)目次

口 絵

刊行のことば

例 言

民 俗 編

第一章 村と町のすがた

三

第二章 村と町

九

第一節 村の組織

九

一 村の役員

九

二 共有財産

二

三 村寄り合い

三

四 村仕事

三

五年齢集団

四

六 助け合いと制裁

一 共同労働

六 六 六

二 祝儀、不祝儀の助け合い

七 七 八

三 災害のときの救済

八 八 八

四 村制裁(こらしめ)

八 八 八

五 村入り

九 九 九

第二節 町の役割

2 山中へ通じる道
善光寺道／瀧の入・相川越えの道
沓掛越えの道／和知場越えの道
翌

一 町の範囲と生活環境
三

二 町の組織
三

三 町と村
三

1 定店
三

2 行商人
三

四 物の流通
三

1 市
三

初荷・初売り／初市・飴市／節供
市・雑市・植木市／馬市／盆市／恵
比須講／暮市・節季の市・歳の市
三

2 商慣習
三

掛売り／仲買人／売買契約／借金
三

五 町の暮らし
三

1 奉公人
三

2 商家の主婦
三

第三節 交通と運搬

一 道路
三

1 千国街道
三

- 2 山中へ通じる道
善光寺道／瀧の入・相川越えの道
沓掛越えの道／和知場越えの道
翌
- 3 大町地区内の道
七
- 4 岳を越える道—針の木峠越え
兜
- 5 橋
吾
- 6 道しるべ
吾
- 7 石造物
吾
- 8 庚申塔／道祖神碑／馬頭観世音碑／
青木湖畔三十三体觀音
吾
- 9 街道を来た人々
吾
- ゴゼ／三河万歳／俵ころばし／ハル
ゴマ・ハルウマ／越後獅子・猿回し
／飴売り／薬売り／簾屋
吾
- 二 牛方とボッカ
堯
- 1 牛と馬
堯
- 2 牛追い
堯
- 3 ボッカ
六
- 4 ボッカの道具
空

二 団地と社宅

ツカの身支度
二 地団と住宅

第三章 家と人

第三章 家と人

四運 搬

運搬空一袋

1 人力による運搬
肩にかつぐ運搬／背に背負う運搬／
車による運搬／そり

1 人力による運搬
肩にかつぐ運搬／背に背負う運搬／
車による運搬／そり

2 牛馬による運搬 七二

2 牛馬による運搬 七二

3 河川を利用した運搬

3 河川を利用した運搬

乳川の木流し／高瀬川の木流し／鹿

乳川の木流し／高瀬川の木流し／鹿

島川の木流し

島川の木流し

第四節 新しい住宅地

第四節 新しい住宅地

新しい町

一新しい町

1 分 町

1 分 町

旭町／十日町／東中原町／桜田町／

旭町／十日町／東中原町／桜田町／

外堀／白樺／新郷／西山住宅

外堀／白樺／新郷／西山住宅

2 住宅地

2 住宅地

俵町／中原町／東若宮町

俵町／中原町／東若宮町

目 次

二 子供の遊び	五	2 館之内公徳会	一六																																																		
1 幼児の遊び	五	1 年 祝 い	一七																																																		
2 男の子の遊び	五	1 厄 年	一七																																																		
3 女の子の遊び	五	2 年 祝 い	一七																																																		
4 鬼ごと遊び	五	第六節 葬 送	一七																																																		
5 二手に別れてする遊び	五	三 子守歌と遊び歌	五	1 共同祈願と魂よばい	一七	1 子守歌	五	2 送葬の儀礼	一七	2 お手玉歌(ダンマ歌)	五	1 死者の安置	一七	3 まりつき歌	五	2 死亡の知らせ	一七	4 羽根つき歌	五	3 納棺の作法	一七	5 繩跳び歌	五	4 葬 儀	一七	6 鬼ごっこ歌	五	葬儀／野辺送り／埋葬／棚上げ		第四節 若者の世界	一〇	一 若者組	二	1 葬式組の役割と分担	一六	二 行事と若者	二	2 葬 具	一六	1 祭りと若い衆	二	2 運動会	二	三 青年団	一五	四 死後の供養	一六	1 四十九日の法事	一六	2 年忌	一六	三 青年団活動	一五
三 子守歌と遊び歌	五	1 共同祈願と魂よばい	一七																																																		
1 子守歌	五	2 送葬の儀礼	一七																																																		
2 お手玉歌(ダンマ歌)	五	1 死者の安置	一七																																																		
3 まりつき歌	五	2 死亡の知らせ	一七																																																		
4 羽根つき歌	五	3 納棺の作法	一七																																																		
5 繩跳び歌	五	4 葬 儀	一七																																																		
6 鬼ごっこ歌	五	葬儀／野辺送り／埋葬／棚上げ																																																			
第四節 若者の世界	一〇	一 若者組	二	1 葬式組の役割と分担	一六	二 行事と若者	二	2 葬 具	一六	1 祭りと若い衆	二	2 運動会	二	三 青年団	一五	四 死後の供養	一六	1 四十九日の法事	一六	2 年忌	一六	三 青年団活動	一五																														
一 若者組	二	1 葬式組の役割と分担	一六																																																		
二 行事と若者	二	2 葬 具	一六																																																		
1 祭りと若い衆	二	2 運動会	二	三 青年団	一五	四 死後の供養	一六	1 四十九日の法事	一六	2 年忌	一六	三 青年団活動	一五																																								
2 運動会	二	三 青年団	一五	四 死後の供養	一六	1 四十九日の法事	一六	2 年忌	一六	三 青年団活動	一五																																										
三 青年団	一五	四 死後の供養	一六																																																		
1 四十九日の法事	一六																																																				
2 年忌	一六																																																				
三 青年団活動	一五																																																				

五 生まれ替わりと仏おろし [分]

六 墓 制 [分]

1 葬式が続くとき [分]

2 無縁仏 [分]

3 宗旨と葬制 [分]

4 墓 地 [分]

5 家畜の墓 [分]

/外便所/蚕室/その他

3 家 相 [三九]

三 間 取 り [三〇]

1 間取りの型 [三〇]

2 問 取 り [三〇]

ダイドコ(土間)/マヤ(馬屋)/ヒキ

ヤバ(挽屋場)/カミスキヤ(紙漉屋)

/オエ(居間)/カツテ(勝手場)/ネ

マ(寝間)/ザシキ(座敷)/その他

部屋

第四章 毎日の暮らし [分]

第一節 すまい [分]

[合]

一 屋 敷 [合]

[合]

1 屋敷構え [合]

[合]

2 飲料水 [合]

[合]

二 屋敷内の建物 [合]

[合]

五 建築儀礼 [三〇]

[三〇]

四 いろいろと照明具 [三四]

[三四]

1 いろり [三四]

いろいろの名称とカマド/いろりの座

名/発火具と火具

2 照明具 [三九]

[三九]

1 母 屋 [三〇]

[三〇]

2 付属建物 [三〇]

[三〇]

土蔵/漬物小屋/物置き/焚物小屋

第二節 生業の展開 三五

一 農 業 三五

1 稲作と耕地 三五

種糲／苗代／種播き／用水／こやし

／苗取り／田植／田の草取り／虫除

け・鳥追い・災害除け・稻と病虫害

／収穫／脱穀／コロバシアゲ

2 煙 作 三五

二 林 業 三五

1 林 業 三五

2 狩 猶 三五

大きな動物を獲る方法／小さな動物

を獲る方法／小鳥を捕る方法

三 漁 業 三五

1 湖での漁業 三五

2 湖上での冬の穴釣り 三五

3 溪流釣り 三五

四 養 蚕 三五

1 ハキタテから上簇まで 三五

五 紙 す き 三五 2 薦の利用 三五

1 紙 す き 三五

2 原 料 三五

3 用 具 三五

4 紙すきの準備 三五

5 すき屋 三五

第三節 生活のリズム 三五

一 正月の準備 三五

1 ススハキ 三五

2 マツムカエ 三五

3 年 神 様 三五

4 餅 つ き 三五

5 暮 の 市 三五

6 暮の贈答 三五

アラミタマ(新御靈) 三五

二 年 取 り 三五

1 年取りの準備 三五

2 年取りの供え物 三五

3 年 取 り 三五

三正月

三〇〇

初甲子・社日
事八日・針供養

三三三

1 若水

三〇一

2 元旦の祝い

三〇二

3 初夢

三〇三

4 年頭の義理

三〇四

5 お日待ち

三〇五

6 仕事始め

三〇六

7 スゲナイ・倉開き

三〇七

8 ベロベロの年取り・六日年

三〇八

9 草

三〇九

10 オンベヤキ

三一〇

四若年

三一三

1 物作り

三一三

2 イネノハナ・マユダマ

三一五

3 鳥追い・もぐら追い

三一七

4 ナリズモクイジメ

三一八

5 オセイニチ

三一九

6 二十日正月・晦日正月

三二一

7 節分から彼岸まで

三二三

2 1 節分

三二三

5 初

三二三

五

三二三

六春から夏へ

三二六

1 ヒナマツリ

三二七

2 卯月八日

三二八

3 スジマキ・八十八夜

三二九

4 五月節供

三三〇

5 田植えと農休み

三三一

6 六月一日と晦日

三三二

7 七夕と盆

三三三

七七夕と盆

三三三

1 タナバタ

三三三

2 道祖神祭り

三三三

り
借馬の道祖神祭り／高根の道祖神祭

三三三

3 盆市・盆花迎え

三三三

4 新盆

三三三

5 新盆見舞い・盆の贈答

三三三

6 迎え盆

三三三

7 オセイニチ・送り盆

三三三

八秋・収穫祭

三三三

1 青箸の年取り	1	1 雪踏み	3
2 二百十日	2	2 道	4
3 十五夜・十三夜	3	3 雪	3
4 オクンチ	4	4 踏み	3
5 稲刈り	5	5 雪	3
6 十日夜・収穫祝い	6	6 雪	3
九 冬	九	7 雪	3
1 大師講荒れ	1	8 雪	3
2 コトオサメ（事納め）	2	9 雪	3
3 冬 至	3	10 雪	3
一〇 年中行事の消滅	一〇	11 雪	3
第四節 雪とくらし		12 雪	3
一 雪と前兆		13 雪	3
1 初 雪	1	14 雪	3
2 降 雪	2	15 雪	3
初雪が降るきざし／初雪がくる時期		16 雪	3
2 降 雪	2	17 雪	3
降雪または晴れるきざし／降雪量		18 雪	3
二 雪 道		19 雪	3
1 積 雪	1	20 雪	3
雪の種類		21 雪	3
		22 雪	3
		23 雪	3
		24 雪	3
		25 雪	3
		26 雪	3
		27 雪	3
		28 雪	3
		29 雪	3
		30 雪	3
		31 雪	3
		32 雪	3
		33 雪	3
		34 雪	3
		35 雪	3
		36 雪	3
		37 雪	3
		38 雪	3
		39 雪	3
		40 雪	3
		41 雪	3
		42 雪	3
		43 雪	3
		44 雪	3
		45 雪	3
		46 雪	3
		47 雪	3
		48 雪	3
		49 雪	3
		50 雪	3
		51 雪	3
		52 雪	3
		53 雪	3
		54 雪	3
		55 雪	3
		56 雪	3
		57 雪	3
		58 雪	3
		59 雪	3
		60 雪	3
		61 雪	3
		62 雪	3
		63 雪	3
		64 雪	3
		65 雪	3
		66 雪	3
		67 雪	3
		68 雪	3
		69 雪	3
		70 雪	3
		71 雪	3
		72 雪	3
		73 雪	3
		74 雪	3
		75 雪	3
		76 雪	3
		77 雪	3
		78 雪	3
		79 雪	3
		80 雪	3
		81 雪	3
		82 雪	3
		83 雪	3
		84 雪	3
		85 雪	3
		86 雪	3
		87 雪	3
		88 雪	3
		89 雪	3
		90 雪	3
		91 雪	3
		92 雪	3
		93 雪	3
		94 雪	3
		95 雪	3
		96 雪	3
		97 雪	3
		98 雪	3
		99 雪	3
		100 雪	3
		101 雪	3
		102 雪	3
		103 雪	3
		104 雪	3
		105 雪	3
		106 雪	3
		107 雪	3
		108 雪	3
		109 雪	3
		110 雪	3
		111 雪	3
		112 雪	3
		113 雪	3
		114 雪	3
		115 雪	3
		116 雪	3
		117 雪	3
		118 雪	3
		119 雪	3
		120 雪	3
		121 雪	3
		122 雪	3
		123 雪	3
		124 雪	3
		125 雪	3
		126 雪	3
		127 雪	3
		128 雪	3
		129 雪	3
		130 雪	3
		131 雪	3
		132 雪	3
		133 雪	3
		134 雪	3
		135 雪	3
		136 雪	3
		137 雪	3
		138 雪	3
		139 雪	3
		140 雪	3
		141 雪	3
		142 雪	3
		143 雪	3
		144 雪	3
		145 雪	3
		146 雪	3
		147 雪	3
		148 雪	3
		149 雪	3
		150 雪	3
		151 雪	3
		152 雪	3
		153 雪	3
		154 雪	3
		155 雪	3
		156 雪	3
		157 雪	3
		158 雪	3
		159 雪	3
		160 雪	3
		161 雪	3
		162 雪	3
		163 雪	3
		164 雪	3
		165 雪	3
		166 雪	3
		167 雪	3
		168 雪	3
		169 雪	3
		170 雪	3
		171 雪	3
		172 雪	3
		173 雪	3
		174 雪	3
		175 雪	3
		176 雪	3
		177 雪	3
		178 雪	3
		179 雪	3
		180 雪	3
		181 雪	3
		182 雪	3
		183 雪	3
		184 雪	3
		185 雪	3
		186 雪	3
		187 雪	3
		188 雪	3
		189 雪	3
		190 雪	3
		191 雪	3
		192 雪	3
		193 雪	3
		194 雪	3
		195 雪	3
		196 雪	3
		197 雪	3
		198 雪	3
		199 雪	3
		200 雪	3
		201 雪	3
		202 雪	3
		203 雪	3
		204 雪	3
		205 雪	3
		206 雪	3
		207 雪	3
		208 雪	3
		209 雪	3
		210 雪	3
		211 雪	3
		212 雪	3
		213 雪	3
		214 雪	3
		215 雪	3
		216 雪	3
		217 雪	3
		218 雪	3
		219 雪	3
		220 雪	3
		221 雪	3
		222 雪	3
		223 雪	3
		224 雪	3
		225 雪	3
		226 雪	3
		227 雪	3
		228 雪	3
		229 雪	3
		230 雪	3
		231 雪	3
		232 雪	3
		233 雪	3
		234 雪	3
		235 雪	3
		236 雪	3
		237 雪	3
		238 雪	3
		239 雪	3
		240 雪	3
		241 雪	3
		242 雪	3
		243 雪	3
		244 雪	3
		245 雪	3
		246 雪	3
		247 雪	3
		248 雪	3
		249 雪	3
		250 雪	3
		251 雪	3
		252 雪	3
		253 雪	3
		254 雪	3
		255 雪	3
		256 雪	3
		257 雪	3
		258 雪	3
		259 雪	3
		260 雪	3
		261 雪	3
		262 雪	3
		263 雪	3
		264 雪	3
		265 雪	3
		266 雪	3
		267 雪	3
		268 雪	3
		269 雪	3
		270 雪	3
		271 雪	3
		272 雪	3
		273 雪	3
		274 雪	3
		275 雪	3
		276 雪	3
		277 雪	3
		278 雪	3
		279 雪	3
		280 雪	3
		281 雪	3
		282 雪	3
		283 雪	3
		284 雪	3
		285 雪	3
		286 雪	3
		287 雪	3
		288 雪	3
		289 雪	3
		290 雪	3
		291 雪	3
		292 雪	3
		293 雪	3
		294 雪	3
		295 雪	3
		296 雪	3
		297 雪	3
		298 雪	3
		299 雪	3
		300 雪	3
		301 雪	3
		302 雪	3
		303 雪	3
		304 雪	3
		305 雪	3
		306 雪	3
		307 雪	3
		308 雪	3
		309 雪	3
		310 雪	3
		311 雪	3
		312 雪	3
		313 雪	3
		314 雪	3
		315 雪	3
		316 雪	3
		317 雪	3
		318 雪	3
		319 雪	3
		320 雪	3
		321 雪	3
		322 雪	3
		323 雪	3
		324 雪	3
		325 雪	3
		326 雪	3
		327 雪	3
		328 雪	3
		329 雪	3
		330 雪	3
		331 雪	3
		332 雪	3
		333 雪	3
		334 雪	3
		335 雪	3
		336 雪	3
		337 雪	3
		338 雪	3
		339 雪	3
		340 雪	3
		341 雪	3
		342 雪	3
		343 雪	3
		344 雪	3
		345 雪	3
		346 雪	3
		347 雪	3
		348 雪	3
		349 雪	3
		350 雪	3
		351 雪	3
		352 雪	3
		353 雪	3
		354 雪	3
		355 雪	3
		356 雪	3
		357 雪	3
		358 雪	3
		359 雪	3
		360 雪	3
		361 雪	3
		362 雪	3
		363 雪	3
		364 雪	3
		365 雪	3
		366 雪	3
		367 雪	3
		368 雪	3
		369 雪	3
		370 雪	3
		371 雪	3
		372 雪	3
		373 雪	3
		374 雪	3
		375 雪	3
		376 雪	3
		377 雪	3
		378 雪	3
		379 雪	3
		380 雪	3
		381 雪	3
		382 雪	3
		383 雪	3
		384 雪	3
		385 雪	3
		386 雪	3
		387 雪	3
		388 雪	3
		389 雪	3
		390 雪	3
		391 雪	3
		392 雪	3
		393 雪	3
		394 雪	3
		395 雪	3
		396 雪	3
		397 雪	3
		398 雪	3
		399 雪	3
		400 雪	3
		401 雪	3
		402 雪	3
		403 雪	3
		404 雪	3
		405 雪	3
		406 雪	3
		407 雪	3

第五章 信仰と芸能

3 下駄スケート	3
4 うずまき	4
5 シヨックリ	5
6 おとし穴	6
7 ガツチノリ	7
8 カマクラ	8
元三	元三
元四	元四
元四	元四
元五	元五
元五	元五
元五	元五

第一節 町の祭り

一 若一王子神社の祭り	元五
1 由緒	元五
2 流鏑馬	元六
二 竈神社の祭り	元六
三 職人の神	元七

第二節 村の祭り

一 村々の神社	四五
二 祭りの準備	四五
1 氏子総代	四三
	四三

2 神物忌	2
3 物忌	3
4 軛立て	4
5 注連縄張り	5
元六	元六

三 祭り

1 神幸	1
2 神供	2
3 祭りと客呼び	3

四 同族の神

五 路傍の神仏	五
---------	---

1 町や村の神仏	四六
2 道祖神	四六

第三節 祭りの芸能

一 仁科神明宮	四三
1 作始めの神事	四三
2 太々神楽	四三
二 大神楽	四三
三 舞台	四三

第四節 講の祭り

第六章 口頭伝承

四五

一 伊勢講 四六

二 庚申講 四七

三 立山講 四八

第五節 家の祭り

一 概説

二 昔話の実際

1 動物昔話

一 屋敷神 四九

二 屋内の神 五〇

三 神棚に祀る神々 五一

三 便所神 五一

1 便所という空間 五一

2 出産と便所神 五六

3 便所神をまつる日 五六

4 便所と俗信 五六

第六節 須沼歌舞伎

3 笑話

房／切明庄屋

又兵衛苗むらいかや／武八炭焼き／
うざおかのかみ／馬の尻に札／沢庵
風呂／どっこいしょ（その一）／ど
っこいしょ（その二）／ずくなし同

士／屁つびり嫁（その一）／屁つびり嫁（その二）／草刈ろう／屁の芸
／屁の土蔵番／おきよ／天狗のかく
れ蓑／度胸が一番／鬼はくち／和尚
さまお代り／餅は本尊様／言われた

通り

4 形式譚

兜六

天からふんどし／蟻の米運び／長い

名の子

5 その他

兜七

ちょうず場の神／道ろく神の神様／

三 大町市の昔話一覧

兜八

大町市の昔話一覧

第二節 伝説

吾〇

一 概 説

吾〇

二 伝説の実際

吾一

1 植物の伝説

吾一

一本松／傘松／錫杖松／天狗松／矢

止松（留松）／老杉／静御前の杖

桜／静御前の杖いちょう／靈松寺の

大いちょう／一つ栗

2 石と岩の伝説

吾五

いぼなおし石／北いぼ沢の小石／い
ぼ岩／鬼石／鬼の足跡岩／鏡岩／要
石／硯岩／仙人岩と馬返し／立石／
御輿石

3 水の伝説

吾九

仁科三湖／木崎湖の一本波／中綱湖
の主／青木湖の主は赤牛／青木湖の
大きくなつたわけ／あま池／いもり
が池／駒沢池（駒池）／長原の池／
一べん水／弘法清水／弘法大師の硯
水／柳清水／御所川／藤渡橋／清音
の滝／機織淵／思い沢／葛温泉／泉
の小太郎

4 塚と穴の伝説

五九

経塚／行さん塚／行人塚（上人塚）

／首塚／金剛院塚／富権氏の筆塚／

静御前の墓／下原の庚申塔／鬼の穴

5 山と谷と道の伝説

五三

大姥山の山姥／鷹狩山／針ノ木峠越

え（佐々成政伝説）／針ノ木峠開削

計画／一夜道／牛首

6 城と屋敷の伝説

五六

館之内古城址／森城／北原屋敷／寺

屋敷／八面大王の屋敷（本屋敷）／

堀屋敷／御殿場

7 田・原の伝説 五元

嫁殺し田／えびすまつ原／武者隠原

／五輪の平

8 地蔵・薬師・觀音の伝説 三

原の地蔵／子育て地蔵と弘法大師像

／盛蓮寺の聖觀音（日不見の觀音）

／蛇除觀音／道しるべ觀音／仏崎觀

音の窟堂／金比羅様の馬（鷹狩山）

／あごなし権現／弁天様

9 神社・寺・堂の伝説 三

お神明様（仁科神明宮）／お神明様

と簗社／神明宮への供物／お神明様

の唐猫／神明宮の手まり／牛立薬師

（曹洞宗牛立山薬師寺）／王子神社

祭礼の舞台／五郎宮／盜人宮／板巣

明神／ばんごん様／お羽黒様／しゃ

ごじ様（しゃぐじ様）／狸和尚／む

じな稻荷／五社神社宮跡

10 禁忌を語る伝説 二

ゴマを作らない／夕顔を作らない／

柿の木を植えない／鶏と犬を飼わな

い／赤蟻がない
あすき洗い／みこしの入道／八面大

11 その他の伝説 一
王／手づかみ

あすき洗い／みこしの入道／八面大

11 その他の伝説 一
王／手づかみ

三 大町市の伝説一覧 三

第三節 世間話 三

一 概 説 三

二 世間話の実際 三

狐に化かされた話／狐の嫁入り／狸

が木を切る／むじなに化かされた話

／山犬の話／ダイラボッチ／大力ば

あさん

第四節 ことわざとなぞ 三

一 概 説 三

二 ことわざとなぞの実際 三

1 ことわざ 三

衣食住／身体・産育／天候／農事／

夫婦・嫁姑／死

2 なぞ 三

衣食住／生活用具／自然／人間／そ

の他

主な話者 二

三

第七章 方言

言 兮六

第一節 はじめに 兮六

一 方言意識 兮六

1 大町市周辺地方の方言についての意識 兮六

2 大町市内部の方言差についての意識 兮六

3 東京語、共通語との差についての意識 兮六

二 大町市方言の位置 兮〇

1 日本語の方言区画 兮〇

2 本州東部方言の特徴 兮〇

3 ナヤシ（長野・山梨・静岡）方言の特徴 兮〇

4 長野県方言の区画 兮〇

三 本章の内容・その他 兮〇

第二節 談話語

言 兮〇

一 はじめに 兮〇

二 テキスト方言訳 兮〇

第三節 音韻

言 兮一

一 はじめに 兮一

二 大町市方言音韻の体系 兮二

1 大町市大町方言の音素・拍体系 兮三

2 大町市方言の拍の特徴 兮四

三 共通語との対応 兮八

1 共通語の/a'i/(-アイ)・/a'e/(-エ) 兮八

2 共通語の/o'i/(-オイ)・/o'e/(-オエ) 兮九

3 共通語の/u'i/(-ウイ)・/u'e/(-ウエ) 兮〇

4 共通語の/i'e/(-イエ) 兮〇

5 共通語の/a'ju/(-アユ)・/a'ja/(-ヤ) 兮八

6 共通語の/u/ (ウ) 軸 兮九

7 共通語の/i/ (イ) 軸 兮九

8 共通語の/ju/ (ュ) 軸 兮三

9 共通語の/hɪ/ (ヒ)・/sɪ/ (シ) 兮六

四 大町市方言音韻の位置 兮九

1 日本語音韻の三つの分類 兮九

2 母音の無声化 兮九

3 もともと促音のないところに促音を入れる現象 兮一〇

第四節 アクセント : 穴毛

語の中高型／第五類所屬語の中高型
／第六・七類所屬語の頭高型

- 一はじめに : 穴毛

- 1 アクセントとは : 穴毛

- 2 有アクセントと無アクセント : 穴毛

- 3 アクセントの型の表記 : 穴毛

二 大町市方言アクセントの型、その種類 : 穴元

- 類、体系 : 穴元

- 1 アクセントの型、その種類 : 穴元

- 2 アクセントの型の名称 : 穴元

- 3 大町市方言アクセントの体系 : 穴元

- 4 平板型と尾高型 : 穴元

東京語における平板型と尾高型／大
町市方言アクセントの平板型と尾高

型 : 穴元

三 語アクセントの特徴 : 穴元

- 1 「類」とは : 穴元

- 2 一拍名詞 : 穴元

- 3 二拍名詞 : 穴元

- 4 三拍名詞 : 穴元

「類」による型の傾向／第四類所属

5 四拍名詞 : 穴元

6 二拍動詞 : 穴元

7 三拍動詞 : 穴元

8 四拍動詞 : 穴元

9 複合動詞のアクセント : 穴元

10 二拍形容詞 : 穴元

11 三拍形容詞 : 穴元

12 四拍形容詞 : 穴元

四 大町市方言アクセントの位置とその特徴 : 穴毛

第五節 文 法 : 穴毛

- 一はじめに : 穴毛

二 動詞・形容詞の活用とその特徴 : 穴毛

- 1 動詞の活用 : 穴毛

- 2 動詞の活用表／動詞活用の種類とそ
の特徴／活用形の用法 : 穴毛

- 3 形容詞の活用 : 穴毛

- 4 形容詞の活用表、活用の種類／活用
の用法 : 穴毛

三 表 現

1 推量・意志・勧誘などの表現	空	3 しゃがむ	1 おたまじやくし
2 打消・禁止の表現	空	4 ありじごく	2 セ二
3 能力と条件的可能の表現	空	5 かめむし	3 セ八
4 理由・原因の表現	空	6 馬	4 セ三
5 敬語表現	空	7 肩	5 セ二
尊敬表現／謙譲表現／丁寧表現	充	8 車	6 セ一
大町市方言文法の位置	充	9 竹	7 セ一
1 東西両方言対立からみた大町市方言	充	10 つらら	8 セ一
東西両方言の対立とその境界／東西両方言の対立からみた大町市方言／	充	11 雪	9 セ一
ナヤシ方言の特徴と大町市方言	充	12 かき	10 セ一
		13 「わら製の長靴」と「わら製のスリッパ」	11 セ一
		14 「火だこ	12 セ一
		15 「どんど焼き」	13 セ一
		16 「ことばと場面」	14 セ一
		17 「どうもろこし」「めんこ」	15 セ一

三 方言分布の型

1 言語地図と方言分布の型	空	1 おたまじやくし	1 おたまじやくし
2 北部型、北部周辺型	空	2 ありじごく	2 ありじごく
3 南部型、南部・東部型	空	3 かめむし	3 かめむし
4 南部・東部・中部型	老	4 馬	4 馬
5 中部型、中部・東部型	老	5 肩	5 肩
6 大町市街地からの放射	老	6 車	6 車
7 全域散在・点在型	老	7 つらら	7 つらら
8 正座する	老	8 竹	8 竹
1 あぐらをかく	老	9 雪	9 雪
2 正座する	老	10 かき	10 かき
3 しゃがむ	老	11 「わら製の長靴」と「わら製のスリッパ」	11 「わら製の長靴」と「わら製のスリッパ」
4 おたまじやくし	老	12 「火だこ	12 「火だこ
5 ありじごく	老	13 「どんど焼き」	13 「どんど焼き」
6 かめむし	老	14 「ことばと場面」	14 「ことばと場面」
7 しゃがむ	老	15 「どうもろこし」「めんこ」	15 「どうもろこし」「めんこ」

觀光編

10 小空間分布型 卍一
まとめ 卍一
民俗編 あとがき 卍九

第七節 終りに 卍三
民俗編 あとがき 卍九

第一章 概 説 卍三

第一節 観光の定義と目的 卍三

第二節 市民の観光に対する意識 卍四

一 市内観光地に対する評価 卍四

二 大町と他の観光地との比較 卍六

三 観光と市民生活意識 卍七

四 観光地としての発展性 卍八

五 行政等関係機関に対する要望 卍九

第三節 大町市観光の特性 卍一

一 優れた教育化水準と強い観光指向 卍一

二 その強い季節波動性 卍三
三 交通の不便さがもたらす遠い距離感 卍三
四 黒部ダム（立山・黒部アルペンルート）への偏重性 卍五
五 優れた自然と文化 卍七

第四節 市民生活と観光 卍八

一 歴史の中の産業構造の推移 卍八

二 農業の減少と観光・サービス業の増加 卍十

三 地元をうるおす観光産業 卍三

第五節 交通と観光 卍五

一 観光客の利用交通機関 卍五

二	国鉄大糸線の歩み	八六
三	国鉄大糸線と観光開発	八九
第六節	大町市観光、その将来の発展	
	を目指して	八三
一	大町市観光の魅力	八三
二	大町市観光発展の要件	八四
1	地域性あふれる「ふるさと観光」	八四
2	自然と文化と温泉地を生かした広域観光	八四
3	地場産業の育成強化	八四
4	都市の美しさ楽しさを生かした観光	八五
5	黒部ダム（立山・黒部アルペンルート）の重要性	八五
6	交通体系整備の急務	八六
第二章	大町の観光の歴史	八六
第一節	観光の起源	八六
一	概説	八六
二	藩制から明治時代	八〇
1	葛温泉の開発史	八〇
2	木崎湖と森城跡	八〇
三	大正から昭和初期	八〇
四	観光施設と組織の発展	八〇
1	観光協会の設立	八〇
2	村営山小屋	八〇
3	スキー（雪艇）	八〇
4	スケート（氷滑）	八〇
5	村営貸ボートと遊覧船	八〇
6	中部山岳国立公園	八〇
7	学者村とエコノミスト村	八〇
第二節	大町の観光の高揚と現況	八〇
一	ダム観光時代の到来	八〇
1	黒部ダムの完成と公開	八〇
2	高瀬ダムとその渓谷	八〇

二 引湯による平地観光の充実	1	近世の特産物	八一
引湯までの経過		現代の特産物	八三
大町温泉郷の実現	2		八五
木崎湖温泉の開湯	3		八七
第三章 主な史跡と文化財			
三 博物館の町	卷
1 観光の先駆・大町山岳博物館	卷	八一
2 五つの博物館の横顔	卷	八三
3 市立大町山岳博物館／酒の博物館／	卷	八五
エネルギー博物館／塩の道博物館／	卷	八七
東山低山帶野外博物館	卷	八九
第四 史料による伝統神事と文化財保護行政			
政	七四
1 仁科神明宮の「作始め」の神事	七四	八一
2 若一王子神社「流鏑馬」の神事	七四	八三
3 文化財保護行政と民間の協力	七四	八五
第三節 大町の市場と物産			
一 近世から近・現代の市場	八六	八六
1 馬市	八六	八八
2 初市から暮市	八八	九一
二 近世から近・現代の特産物	九一	九三
1 灵松寺	九三	九五
2 若一王寺神社	九五	九七
第三節 大町の市場と物産			
一 近世から近・現代の市場	八六	八六
1 馬市	八六	八八
2 初市から暮市	八八	九一
二 近世から近・現代の特産物	九一	九三
1 灵松寺	九三	九五
2 若一王寺神社	九五	九七
3 天正寺	九七	九九
4 弾誓寺	九九	一〇一
5 大町居館跡（天正寺居館跡）	一〇一	一〇三
6 龍神社	一〇三	一〇五

四平地区

1 森城跡	九〇	5 庚申塔	九九
2 海の口付近	九一	6 名号碑	九二
3 佐野坂石仏	九三	7 月待碑	九四
4 小熊山麓の積石塚古墳群	九五	8 その他	九六
5 上原遺跡	九七		
6 西正院（大姥堂）	九八		
7 大沢寺	九九		
五 常盤地区	一〇〇		
1 仏崎観音堂	一〇一		
2 仁科氏関係の山城・居館跡	一〇二		
3 乳川石堤（市指定史跡）	一〇三		
4 清水家文書（市指定文化財）	一〇四		
第三節 札所めぐりと石神・石仏	一〇五		
一 仁科三三番札所めぐり	一〇六		
二 大町の石神・石仏	一〇七		
1 三三番観音石仏群	一〇八		
2 六觀音・七觀音石仏	一〇九		
3 道祖神	一一〇		
4 大黒天	一一一		

第四章 観光と年中行事

第一節 祭礼と神事	一一〇		
一 仁科神明宮の神事	一一一		
1 仁科神明宮の神楽（県指定無形民俗文化財）	一一二		
2 古式作始めの神事	一一三		
二 若一王子神社の祭礼	一一四		
1 八坂神社の祭礼	一一五		
2 稚児行列	一一六		
3 流鏑馬神事（市指定無形文化財）	一一七		
4 ぶたい（舞台）	一一八		
三 竈神社の八朔祭	一一九		
四 主な年中行事	一二〇		
1 餘市	一二一		

木崎湖の燈籠流しと花火大会	2	九四
大町温泉郷の花火大会	3	九五
4 仏崎の草競馬		九六
5 やまびこ祭り		九七
第一節 自然美への開眼	一	九八
第二節 登山のはじまり	二	九九
一 加賀新道	三	一〇〇
二 外国人による登山	四	一〇一
三 学術登山	五	一〇二
四 測量登山	六	一〇三
五 探險登山	七	一〇四
1 渡辺敏と窪田畔夫	八	一〇五
2 著名な岳人たちの足跡	九	一〇六
3 ウエストンと大町	一〇	一〇七
4 黒部に生きた冠松次郎	一一	一〇八
5 日本アルプス縦断記	一二	一〇九
日本山岳会の設立	一三	一一〇

第三節 山案内のうごき

一大町登山案内者組合の設立と案内者	一	九一
二 平村登山案内人組合	二	九七
三 山の通信・伝書バト	三	九八

第五章 山 岳

ハトの中心地となる大町	一	九九
伝令とハト通信	二	九九
山岳救助とハト通信	三	一〇〇

第四節 山と人

一大町の山人たち	一	一〇〇
遠山品右衛門	二	一〇一
狩野きく能	三	一〇二
百瀬慎太郎	四	一〇三
平林 武夫	五	一〇四
手塚順一郎	六	一〇五
平林 克敏	七	一〇六
大町にゆかりの山人たち	八	一〇七
楨 有恒	九	一〇八
塙本 閻治	一〇	一〇九
古原和美と武田武	一一	一一〇

4	松方 三郎	一一三
5	宮さまの登山	一〇三
	朝香宮鳩彦王／久邇宮ご兄弟	
第五節 近代登山史に残る鹿島槍ヶ岳	一一六	
一 近代アルビニズム	一〇六	
二 積雪期の登はん	一〇七	
第六節 山と教育	一一〇	
一 学校登山	一一〇	
二 信濃木崎夏期大学と山岳	一〇五	
三 大町山岳博物館	一〇六	
四 長野県山岳総合センター	一〇元	
第七節 催しとグループ	一一一	
一 市民のうごき	一一二	
1 慎太郎祭	一一三	
2 市民登山	一一六	
二 グループのうごき	一一六	
1 大町山岳会	一一六	
二 大町山の会	一一六	
第八節 山小屋のうつりかわり	一一四	
一 三俣蓮華小屋	一一四	
二 水晶小屋	一一四	
三 野口五郎小屋	一一四	
四 湯俣山荘	一一四	
五 湯俣温泉晴嵐荘	一一四	
六 鳥帽子小屋	一一四	
七 潁小屋	一一四	
八 船窪小屋	一一四	
九 餓鬼岳小屋	一一四	
一〇 村営大沢小屋	一一六	
一一 大沢小屋	一一七	
一二 針ノ木小屋	一一九	
一三 新越乗越小屋	一一五	
一四 種池小屋	一一五	
一五 冷池小屋	一一五	
4	昭和電工大町工場山岳部	一一九
4	吳羽紡績大町工場山岳部	一一九

一六 鹿島山造林小屋	一五
一七 滝ノ小屋	一五
一八 その他の小屋	一五

第九節 山岳遭難

一 増加する遭難	一五三
1 早稲田大学の遭難、篠川谷	一五五
2 鹿島槍ヶ岳、冷小屋主の遭難	一五六
3 同志社大学の遭難、北葛岳	一五七
4 学習院大学の遭難、鹿島槍ヶ岳天狗尾根	一五八
二 二重遭難と救助隊の組織	一六三
1 北鎌尾根の遭難	一六三
2 救助隊員 白川敏男の殉職	一六三
3 救助隊の組織	一六四
4 救助隊員の身分保証	一六五
5 救助隊員の補償	一六七
6 危険登山道の管理	一六八
7 地元山岳会の北アルプス北部遭難対策	一六九
8 協議会への加入	一七〇
9 遭難事故の統計	一七〇

第六章 観光と伝説・民謡

第一節 観光と伝説

一 東山の台地に立つて	一五五
1 雪形の幻	一五五
2 静御前の墓	一五七
二 針ノ木峠を越えて	一五六
1 武将と大姥尊像	一五六
2 黄金の壺を抱く	一五六
三 母なる大地	一五六
1 泉小太郎の干拓	一五六
2 北条屋敷に眠る	一五六
3 八面大王の抵抗	一五六
四 青き湖の語ること	一五〇
1 湖の誕生	一五二
2 御神渡は△恋の道△	一五四
3 森城哀史	一五五
4 鳴りひびく沈鐘	一五六
5 青木湖哀史	一五六

湖の主の母性愛／近代伝説

6 鬼も住んでいたところ……………二〇〇

第二節 観光と民謡

一 伝承の民謡……………二〇一

1 生活と民謡……………二〇一

2 民謡の発生……………二〇三

3 大町地方の民謡……………二〇三

子守唄／地掲唄／田植唄／木挽唄／

盆踊唄……………二〇三

二 舜女唄など……………二〇九

三 他の地区との関連……………二〇九

2 女たちの喜びとなぐさめを……………二〇九

3 ゴゼの足跡……………二三三

三 新作民謡と踊り……………二五

1 新作民謡の復興……………二五

2 安曇節と踊り……………二五六

作成の経過／大町地方における安曇
節の普及／安曇節の歌詞／出原處士
のこと

四 観光民謡の普及……………二三三

1 大町小唄……………二三三

作成までの経過と背景／唄と踊りの
ところ

2 料芸界と民謡……………二三三

3 観光民謡のながれと大町音頭……………二三五

五 市民祭りと民謡……………二三五

1 大町やまびこ音頭……………二三五

2 大町小唄……………二三五

3 観光民謡のながれと大町音頭……………二三五

第七章 観光と文学

一 明治の文人墨客……………一四〇

二 山岳紀行文など……………一四一

1 木暮理太郎と田部重治……………一四一

2 志村鳥嶺と辻村伊助……………一四一

三 大町を訪れた歌人(大正篇)……………一四一

1 島木 赤彦……………一四一

2 若山 牧水……………一四一

3 齋藤 空穂……………一四一

四 山を愛した文人(大正篇)……………一四一

五 山を愛した文人（昭和篇）	1 吉江 畠松	一四四
6 隨想のなかの大町	2 阿部 次郎	一四五
	3 石川 欣一	一四六
	4 大町 桂月	一四七
	5 山を愛した文人（昭和篇）	一四八
	6 隨想のなかの大町	一四九
六 小説のなかの山々	1 冠松次郎と室生犀星	一五〇
	2 茨木猪之吉	一五〇
	3 百瀬慎太郎	一五〇
七 小説のなかの大町	1 深田久弥と新田次郎	一五二
	2 大仏次郎の『旅路』	一五三
	3 井上靖の『あした来る人』	一五三
	4 瓜生 卓三	一五三
八 隨想のなかの大町	1 吉田絃二郎の『静夜曲』	一五五
	2 北條秀司の『霧の音』	一五六
	3 井伏鱒二の『駅前旅館』	一五六
	4 丸山健二の作品	一五六
	5 曽野綾子の『湖水誕生』	一五六
	6 松本清張の『眼の壁』	一五六
九 詩 歌	1 俳 句	一五六
	2 現代詩	一五六
第二節 絵のなかの大町	1 明治・大正時代	一五六
	2 昭和の時代	一五六
三 郷土の画家たち	1 あとがき	一五六
觀光編	2 民俗・觀光 參考文献	一五六
編纂関係者	3	一五六
執筆者一覧	4	一五六